

スポーツリーダー

(敬称略)

第53回大原一周駅伝競走大会

加茂町商工会館前を発着点に木次町・大東町を經由するコースで大原一周駅伝競走大会(5区間・27.5km)が開催され、選手たちが健脚を競いました。

■と き 3月6日開催 ■ところ 加茂町商工会館前発着

【1部】旧郡内体協・高校 出場数6チーム

- 1位 大東A**
但馬 裕朗、安田 和広、細田 洋人
安部 洋一、荒木 公栄
- 2位 大東高校A**
日野 誠彦、妹尾 隆弘、庄司 敬哉
山本 明正、藤原 正昭
- 3位 加茂町**
長谷川 充宏、稲田 太一、黒田 英夫
佐藤 匡哉、星野 邦男



【2部】旧郡外市町村・高校・クラブなど 出場数22チーム

- 1位 ホシザキ電機B**
石田 準、森山 良夫、大畑 馨
高見 覚、福代 亮太
- 2位 平市 with T・O**
多久和 政徳、金森 裕二、大野 哲宏
坂本 直人、渡部 俊
- 3位 仁多町体協**
加藤 周三、田部 勇二、足木 嘉宏
小田川貴宏、石原 豊



【区間賞】

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1部 伯馬 裕朗 (大東A) | 2部 加藤 周三 (仁多体協) (1区・5.5km) |
| 山根 慎也 (木次体協) | 森山 良夫 (ホシザキB) (2区・3.7km) |
| 細田 洋人 (大東A) | 大畑 馨 (ホシザキB) (3区・7.0km) |
| 佐藤 好 (木次体協) | 小田川貴宏 (仁多体協) (4区・4.3km) |
| 荒木 公栄 (大東A) | 福代 亮太 (ホシザキB) (5区・7.0km) |

第51回 大東町卓球大会

■と き 3月6日開催 ■ところ 雲南市大東町民体育館

●シングルス

- 優 勝【男子Aクラス】大坂浩二 【男子Bクラス】細木賢治
【40歳以上男子】森脇誠夫 【女子Aクラス】奥田邦江
【女子Bクラス】難波美穂 【小・中学生】新田祥基
【ラージボール卓球】来海和男

●団体戦

- 優 勝【男子の部】大東体協A 【女子の部】大東体協

第28回 吉田町自治会親善卓球大会

■と き 3月6日開催 ■ところ 吉田勤労者体育センター

●シングルス

- 優 勝【一般男子の部】金澤真也 【一般女子の部】河角幸子
【小学生の部】川角大輝

●団体戦

- 優 勝 曾木自治会
準優勝 上山自治会



木次町冬季インドアソフトテニス大会

■と き 2月27日開催 ■ところ 雲南市木次体育館

- 1位 松林智照・岡田久美子 (6勝)
2位 三代敏弘・案田彰子 (4勝2敗)
3位 出雲孝悦・西川昌子 (3勝3敗)

今年、昭和で言えば80年。戦後日本も還暦を迎えました。これまでを振り返り、新たな国づくり地域づくりを目指さねばなりません。そのスタートを切る今年、厳しい厳しいを繰り返すばかりであってはなりません。たしかに大変な年ではありますが、戦後日本のスタートとなった昭和20年は、何もなかった。厳しいとは言いがくも今は、なんでもあります。

かつての辛抱に比べればなんだ坂こんな坂、ここはしたたかに乗り切らねばなりません。

そのためには、あらゆる知恵と工夫を駆使し、総力戦でがんばることが必要です。

(雲南市長 速水雄一)

平成17年は、雲南市にとって実質誕生元年です。そのスタートとなる3月議会に提案した予算はまことに厳しい編成を余儀なくされました。合併効果が出るまでには、なお時間がかかり、地財ショックや三位一体改革の影響が、大きくのしかかったためです。

しかし、賽は投げられました。雲南市の一体的発展を目指して、「市民が主役のまちづくり」を怒涛のごとく進めていかなければなりません。



いきいき雲南